

(無断転載を禁ず)

いぶすき検定

第6回 上級試験

問題用紙

(13時30分開始 制限時間120分)

～ 注意事項 ～

1. 答案用紙の記入にあたっては、黒鉛筆またはシャープペンシルを使用すること。
2. 答案はすべて答案用紙に記入し、提出すること。
3. 点数は100点をもって満点とし、問1が20点(1問で20点)、問2が20点(1問で20点)、問3が20点(1問で20点)、問4が20点(5問で各4点)、問5が20点(5問で各4点)とします。

令和元年8月4日

指宿商工会議所

< 論述問題 >

※論述問題においては、固有名詞をひらがな表記にしても構いません。

1. 指宿の自然概況

[問題]

指宿市の火山地形は、きわめて特徴的な姿を示している。その概況について、次の4つの語句を使い、250字程度で説明しなさい。

- ① 噴火活動を始めた開聞岳
- ② 池田湖を中心に南東へほぼ直進的に並ぶ
- ③ 火山学者の松本唯一博士
- ④ 火山の博物館



指宿の火山地形(黄色は阿多カルデラの推定ライン。赤は噴火口跡や火山を示す)

2. 指宿の産業

〔問題〕

1970年代の2度のオイルショック後、火山地域にある豊富な地熱に注目が集まった。これを日本の新たなエネルギー源として見直そうという動きがあった。

鹿児島県では、霧島と南薩摩地域が調査対象地に選ばれたが、この結果、設置されたのが「山川地熱発電所」である。

この「山川地熱発電所」について、下記の4つの語句を使い、250字程度で説明しなさい。

- ① 営業開始年
- ② 井戸の数・深さ
- ③ 出力
- ④ 立地

3. 指宿の経済

〔問題〕

昭和11年、鹿児島市と山川町間に、鉄道「指宿線」が開通した。

指宿駅の開業は、昭和9年12月19日である。この時、今和泉・宮ヶ浜・二月田駅も同時に開設された。当時、宮ヶ浜駅は、日本で一番海に近い駅であった。

昭和38年に山川―枕崎間が開通し、それまで「指宿線」であった路線名も、「指宿枕崎線」に改められた。

現在は、鹿児島中央駅と指宿駅間を、観光特急「指宿のたまて箱」が走っている。

この観光特急「指宿のたまて箱」（愛称「いぶたま」）について、下記の4つの語句・内容を含めて、250字程度で説明しなさい。

- ① 九州新幹線鹿児島ルートの特多―指宿間の最短運行時間
- ② デザイン、車体の特徴
- ③ 乗降口上部の仕掛け
- ④ ネーミングの由来

<記述問題>

4. 指宿の歴史

[問題]

以下は、近世指宿についての歴史的説明文である。文中の空欄を埋めなさい。

- [1] 天正15(1587)年、穎娃郷清見で、が起き、領主 穎娃久虎が鎮圧に向かった。しかし、その途中で落馬し、それが原因で死亡した。息子の久音が家督を継いだ。突然谷山に所領を変更され、それ以降、指宿・穎娃・山川は島津氏の直轄地となった。
- [2] 山川港の重要性から、文禄元(1592)年に、揖宿郡から福元村・成川村を分離して、一郷としての山川郷がつくられた。その後、から大山村と岡見ヶ水を分離して、山川郷に編入している。
- [3] 延享元(1744)年、藩主 島津継豊の命により、弟 に和泉家を継がせ、今和泉島津家が成立。これが、家臣団最上の「一門家」という家柄の一つである。
- [4] 天保年間(1830～1843)財政難にあえぐ薩摩藩を支えたのは、指宿の だった。彼らは山川港を中心に、黒砂糖貿易や禁制品の海産物・昆布等の貿易で莫大な資金を稼いでいた。
- [5] 幕末期の船主と総反帆数をまとめた資料によると、指宿の濱崎太平次は170反帆、黒岩藤一郎は56反帆、山川のは32反帆、勢左衛門は51反帆等の名がみえる。

5. 指宿の文化

〔問題〕

指宿の文化について、各問の文中にあてはまる語句を埋めなさい。

- 〔1〕明治元年、政府から神仏分離令が出された。これは、江戸時代まで国教的立場にあった仏教と神社を分離するというものである。薩摩藩では、これが廃仏毀釈にまで発展し、寺が打ち壊され、仏像や仏宝などが焼かれ、藩内1066寺院すべてが廃寺となった。

指宿でも、枚聞神社に隣接してあった や、山川の正龍寺、指宿の長勝院をはじめ、由緒ある寺院がことごとく無くなった。

- 〔2〕指宿にやってきた3人の文人墨客が詠んだ歌が摺ヶ浜の施設に設置されている。

「白波の 下に熱砂の隠さるる 不思議に逢えり 指宿に来て」

与謝野 晶子

「なぎさにも 湧きいづる湯の音すれど 潮満ちたりかくろひゆくも」

斎藤 茂吉

「畑掘ればいでゆき畑にわき 磯掘ればいそにもわきいづる指宿の里」

菊池 幽芳

この有名な施設名は、 である。

- 〔3〕成川地区では、旧暦5月5日に、無病息災を願う悪疫よけの行事がかつては広く行なわれていた。数年前までは、鰻地区でも行なわれていたが、これは藁人形やヤツデ、餅などを吊るした網を、集落の入口の道路を横切るように張り、集落の外に向かって小石を投げる伝統行事である。この悪疫よけの行事の名前は、 である。

- 〔4〕薩摩が生んだ幕末の豪商に第8代濱崎太平次がいる。その ^{しょうとくひ} 頌徳碑が、昭和7年6月15日に、翁の70年忌に建てられたが、この場所は である。

- 〔5〕明治6年10月、「征韓論」論争に敗れた西郷隆盛は、下野し、故郷に私学校や吉野開墾社を設立し、山野で狩猟、温泉湯治、読書瞑想の日々を過ごしていた。明治7年2月中旬、従者2人と猟犬13頭を引き連れ、突然鰻温泉へ湯治に来た。そこへ、佐賀の乱に敗れた が西郷の決起を促すためにやって来た。しかし、会談は不調に終わった。